



今回は、高校生のための国語力セミナーについて報告します。

◇ 「高校生のための国語力セミナー」に参加しました

日時： 令和2年12月12日(土) 8:20~12:30

会場： 県内の高校を Web 会議システムで接続

対象： 県内の希望者

テーマ： 「私たちのアイデアと思いが地域を活性化させる」

本校からの参加者： 澤 奈都 (3年) 大堀実歩 丸山愛未 大野健太 (2年)

このセミナーは、高校生が地域活性化の一日観光プランを考え、そのプレゼンテーションを通して、説得力のある自分の意見を発信する能力を培うことを目的としています。

本校からは2年生3名と3年生1名からなる班が「関鍛冶を世界へ!プロジェクト」というテーマで発表しました。より良いプランを考えるだけでなく、「話の組み立て」、「言葉の選び方」、「話し方の技術」、「発表内容と資料の関連性」、「テーマと発表内容との関連性」を意識してプレゼンテーションを作成しました。

全体の流れ

- 前日まで
- ① テーマを設定する。
 - ② テーマに対する調査、研究を行う。
 - ③ 著作権や肖像権に配慮して発表資料を作成する。
 - ④ プレゼンテーションの練習を行い、伝え方を工夫する。

- 当日
- ① 1回目の発表
発表を行い、その後指定された高校間で質疑応答を行う。
 - ② 練り直し
1回目の反省点や質疑応答を踏まえ、より伝わるよう資料を改善する。
 - ③ 2回目の発表
 - ④ 振り返り交流
 - ⑤ 成績発表・審査講評

発表するための技術だけでなく、質問することを考えながら他の発表を聞くことで、論理的思考、批判的思考を学びました。また、質疑応答を通して、自分たちが伝えたかったことが正しく伝わっているか、発表に何が不足しているかを理解し、改善のための方法を考案することができました。

発表風景



発表全景（練習中）



提案Ⅰ 体験型プラン



工房ツアーなどどうでしょう



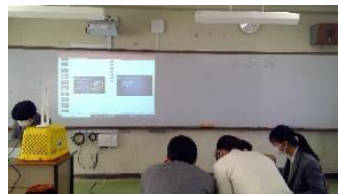
提案2 ポップ加チャの利用



提案のまとめ



分担して改善作業



資料を集約して準備完了



交流は顔を見せながら

参加した生徒の感想

- ・もともと、街づくりに興味があったため、関市の観光をアピールする良い機会だと思い参加した。どうしたら、多くの人を訪れるようなプランが作れるか根拠も探しながら戦略を練ることに苦労した。話の流れは良かったと思うが、資料提示、パワーポイントをもう少し工夫すべきだったと反省した。
- ・今回は、自分の話す力を伸ばしたくてセミナーに参加した。プレゼンを準備する段階では、間の取り方や言葉遣いに特に気を付けた。原稿の中では、自分が最高だと思えるものができたと思う。
- ・放課後にパソコン室に集合し、地域研究部の研究をもとに関の魅力はどう伝えるかを話し合ったり、先輩が作ってくださった原稿をもとにスライドを作ったりした。4人で、当日を想定した発表をし、どこを強調して話したらいいのか。速さはどのぐらいがいいのかのアドバイスをいただいた。
- ・話し方は、相手に伝わりやすいように、明るい声と抑揚をつけることに気を付けた。他のチームは、土地の魅力を様々な視点から伝えていたので、次回プレゼンするときは、多方向から話が展開できるようにしたい。
- ・一回目も二回目もみんなとても丁寧に発表出来ていたと思った。ただ、二回目の自分の発表で、話す内容のことばかり考えていたために、話し方が粗末なものになってしまったと思う。自分の対応力を最も伸ばさなければならないことを実感した。
- ・前例にはないWeb会議でのセミナーで緊張したが、自分なりに精いっぱい頑張ることができた。他の3人が、相手の高校に対しての質問や、質問への応答を瞬時に考えていて3人のようになりたいと思った。また、説得力がある意見が言えるようになりたいと思った。
- ・普段経験できないことを体験出来て新たなことを幾つもの学ぶことができた。
- ・いろいろよくわかっていない状態で戸惑いました。他校のすごい発表に圧倒されました。